

# 東北地方・太平洋沖地震

津軽保健生協ニュース NO. 1

2011. 3. 14

本部 発

**3月11日午後2時47分頃の大地震による津軽保健生協内事業所の人的・建物の被害はありませんでした。**

**しかし、停電が11日から12日夕方まであり、病院や事業所・施設の機能がマヒしないよう総力を挙げて対応しました。**

- ◇「本部地震対策本部」を、総務部に午後4時30分に設置しました。11日は、各事業所の状況把握、対応、連絡つかない事業所には伝令を出すなどをし、状況を把握をしました。田中研常務が対策室に泊まり、事業所対応、全日本民医連の対応もしました。12日夕方までに、すべての事業所で停電が復旧しました。12日も午後9時まで藤田総務部長が対応にあたりました。

## 3月11日地震発生から12日夕方までの各事業所の動き

- ◇**健生病院**～停電ですぐ緊急用自家発電に切り替え、院内対策室を設置。入院患者、緊急患者対応。救急車どんどん搬入。在宅酸素療法者の受け入れ等。自家発電用軽油確保に奔走。給食確保はめどつく。12日朝には停電復旧。
- ◇**藤代健生病院**～停電は健生同様。都市ガスストップにより給食確保に奔走。ディケアのプロパンで。12日朝には停電復旧。
- ◇**津軽医院**～最初の連絡つかなかった。給食は確保。12日朝には停電復旧。
- ◇**健生介護センター虹**～ディサービスは早めに切り上げ各利用者を安全に送り届ける。自家発電の軽油確保奔走。ホッカイロ・懐中電灯（各室巡回用）の電池確保等。管理部泊る。12日夕に停電復旧。
- ◇**有料老人ホームあじさい**～「虹」同様。利用者の不安に職員機敏に対応。寒くないよう業者に毛布の支給を依頼。施設長泊る。12日夕に停電復旧。
- ◇**訪問看護ステーション**～2日間各利用者宅を巡回して歩く。在宅酸素療法の利用者、重症の利用者、一人暮らしの利用者には特に十分な対応をした。
- ◇**ヘルパーセンター各事業所**～2日間各利用者宅を巡回して歩く。心配な利用者、一人暮らしの利用者には特に十分な対応をした。
- ◇**ディケア・ディサービス**～11日は早めに切り上げて対応。12日はインフラが機能しないため、当日予定者宅をすべて訪問し対応した。
- ◇**弘前第一包括支援センター**～心配者の宅をすべて巡回。市役所にも報告。
- ◇**健生クリニックや黒石診療所**の在宅患者の心配の方は健生病院や他病院入院手配する。また、健生クリニックは在宅酸素療法者の収容場所として開放。
- ◇**職員の家族も被害を受けている人がおり、安否確認をしています。**